

入選

親切は国を越える

千葉県 河原塚中学校 1年 右高 美咲

「タスケテ。ワタシたち、マイゴ。」

昨年冬、塾の帰り道で、私は外国からきた4人家族にそう声をかけられました。だいぶ夜遅くだったので、ほかに助けてあげられそうな大人はまわりにいませんでした。そこで、こんな寒い中置いていけないと思った私は、目的の場所まで道案内をすることにしました。

ところが、彼らに日本語が通じない上、話していた言葉も英語ではありませんでした。そこで、私と彼らは翻訳アプリを使って会話をしました。話を聞いてみると、どうやら彼らは日本へ旅行に来たスペイン人で、泊まる友人の部屋を探していたところ迷子になってしまったようです。交番へも行きましたが、日本語がわからない彼らにはうまく伝わっていない様子でした。

冬の寒さは厳しく、私たちが会話している間にもどんどん気温は下がっています。彼らは日本に慣れていないのか、みんなかなりの薄着で唇は青っぽくなり、手先は冷えてスマホで文字を打つたびに痛そうにしていました。そこで、持っていたいくつかのカイロと手袋を彼らに渡しました。すると彼らはとてもうれしそうに、

「オウ、アリガト、アリガトウ！！」

と言いました。私と彼らの心にあたたかい火が一つ、ついたような気がしました。

そうして、彼らから建物の名前と地図を聞くと、私たちはその場所へ向かって歩き始めました。

10分ほどすると、目的の場所に着きました。別れ際、彼らから、

「ホントウニアリガトデス。」

「コレ、アッタカイ。」

「ワスレナイ。アリガトウ。アリガトウ。」

と、たくさんカタコトの感謝の言葉を受け、一人ずつハグをしました。見ず知らずの人からこんなにもありがとうと言われたのは初めてだったので、なんとも言えない清々しい気分になりました。人から感謝されるということは、こんなにも気持ちがよいものなんだ、と改めて感じました。

道案内を終えてやっと帰宅すると、時刻は11時近くで、母にとっても心配されました。そこで、さっきあったことを母に話すと、

「そうだったんだ。すごいじゃん。きっとスペインの人たちに、そのやさしさは伝わってると思うよ。」

私はこの経験から、親切というのは世界共通で、国、言語が違っていても伝わるものだとわかりました。それは、私が見た彼らの笑顔が証明しています。相手を想う、やさしい心づかいは、簡単に国を越えていくことができます。もし、この親切が国を越えていきわたったら、世界中の人々にやさしい心が芽生えるのではないかと考えました。このことが実現するよう、まずは自分から小さな親切を発信していこうと思います。